

平成30年2月20日

清水町議会議長 加 来 良 明 様

清水町議会総務産業常任委員会  
委員長 桜 井 崇 裕

## 所 管 事 務 調 査 に つ い て

常任委員会活動として行う所管事務調査について、このたび調査を終えたので、その結果を下記のとおり報告いたします。

### 記

1. 調査事項 地域公共交通の取り組みについて

2. 調査期日 平成30年2月5日

### 3. 調査の結果

地域住民の日常の移動手段として、公共施設、医療機関、買い物施設などを巡回するコミュニティバスを清水と御影の両市街地で運行しているが、その現状と課題について調査すると共に、新たな農村部の予約型乗合タクシーと清水高校スクール線の回送を活用した清水帯広線バスについても、企画課から説明を受けた。

清水町の地域公共交通の課題として、町民の町外への移動は自家用車による移動以外はJRが唯一の公共交通機関となる。ただ、JR十勝清水駅のホームでの列車乗降は跨線橋を渡らなくてはならず、高齢者にとっては階段などの段差が大きなハードルとなっている。現状は段差のないJR御影駅での乗降をコミュニティバスの接続に

より対応しているが、一昨年の災害時に帯広方面への無料バスを運行したこともあり、乗り換えの手間のない定期的な路線バスの運行を望む声もある。一方、市街地以外の農村部の公共交通はスクールバスの混乗のみであり、利用時間が朝・夕と限られることから十分な対応とは言えない現状がある。

近年、ドライバーの高齢化による事故等が増加し、高齢者ドライバーの運転免許返納を促す施策が広がってきているが、自家用車に代わる日常の移動手段が確保されていないため、農村部でのコミュニティバスや乗合タクシーの運行について意見や要望などが上がってきている。コミュニティバスの運行については国土交通省の地域公共交通確保対策補助を導入して運行している。住民からの要望等を踏まえながら路線の設定や停留所の位置を決めているが、補助基準の最低乗降者数を確保するためには、一定の対応の整理が必要になっている。

平成 29 年度から 65 歳以上の運転免許返納者に対して 1,000 円×12 のタクシー料金助成を実施しているが、遠隔地域の在住者にとってはごく僅かな対応となっている。

コミュニティバスについては、利用の傾向として、清水市街巡回線は 1 日 6 便のダイヤのうち、午前中の 4 便の利用が多く、中でも 9 時～11 時の利用が顕著であり、午後の利用はさほど多くはない。御影市街巡回線は 1 日 4 便（実質 8 便）と小まめな運行であるが、一部の利用以外は利用が少なく清水市街までの利用が一定程度ある。

このような中、見直し案として、清水巡回線は 1 日 6 巡が 4 巡に減るものの、毎日運行で 1 週間では実質 18 巡が 20 巡に、御影巡回線は 1 日実質 8 巡が 4 巡に減るものの、毎日運行で 1 週間では実質 16 巡が 20 巡になる。このことにより、清水市街地住民の御影医療機関や御影駅利用も御影市街地住民の清水医療機関や買い物も曜日を気にせずいつでも行くことが可能となるが、1 日の便数が減り、短時間で用件が済まないなどの意見もある。

次に清水高校スクール線回送活用に伴う清水帯広線の実証運行については一昨年の台風災害時に J R が不通となった際に十勝バス

の協力のもと、無料バス運行していただいた経緯もあり、その結果、一定の利用があり、今後も需要が見込まれることから、現在十勝バスが運行している清水高校スクール線の回送を利用させていただき、清水帯広間のバス運行１往復を行うものである。また、同じく今年１月から、１年間実証実験として、要望の多い農村地域予約型乗合タクシーについては今まではスクールバスの混乗のみで１日１往復であったものが自宅から市街地の停留場を結ぶ新たな交通手段を補完する仕組みとして実施するとしている。

### 【総括】

補助要綱の基準では平均で、１運行に対して１人の乗降が必ず必要であったが、要綱が変わり１運行２人いなければ補助金が支出されない。いかに利用者数の底上げをどうするのか、利用しやすい対策を地域公共交通活性化協議会の中でしっかりと議論し、ますます高齢化が進む中で行政の負担も大きくなるので、町民にいかに利用してもらうか周知徹底し、理解してもらい、利用する方にも工夫してもらうことが大切と考える。公共交通については交通の確保ができない方に対応する施策である。町民が便利で気兼ねなく使える仕組みを構築することが不可欠である。コミュニティバス、清水帯広線、予約型乗合タクシー等をうまく継いで利用しやすくするダイヤを工夫することも、郊外・農村部の対応としては重要である。公共交通のあり方について、行政として何ができるのか、町民のニーズと共に、本来の目的に沿った施策を展開してもらいたい。